

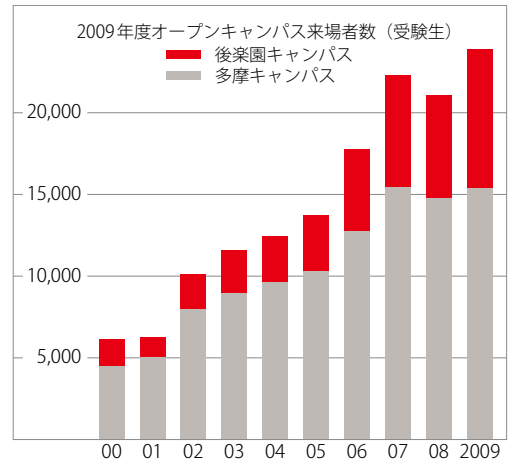
学生募集活動／就職状況

オープンキャンパス 実施報告

毎年夏に実施する受験生対象のオープンキャンパスに、2009年度は全体で2万3千人を超える本学史上最大の来場者がありました。学部・学科ガイダンスや模擬授業、相談コーナーをはじめ、多摩キャンパスでは学生ガイドによるキャンパスツアー、後楽園キャンパスでは研究室を公開するなど充実したプログラムとなり、アンケートでは来場者の約86%から「非常に満足」「ある程度満足」との回答が得られました。

実際に大学へ足を運ぶオープンキャンパスは、受験生にとって、志望校選びのポイントとして近年ますます注目されています。

今後も、中央大学の魅力を伝えるイベントの一つとして、一層の充実をめざします。



2010年度入試より 千葉会場を増設

2010年度入試より、学部入試において、昨年まで実施していた札幌・仙台・さいたま・東京（多摩・後楽園）・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡会場での入試に加えて、千葉会場（2月8日～12日：代々木ゼミナール津田沼校、2月13日～17日：河合塾津田沼校）を新たに増設することとなりました。

入学センターでは「ホームで戦う。」という地方入試リーフレットを通常のパンフレットとは別に作成して、全国の高等学校・予備校へ郵送、進学相談会等で配布し、併せて進学アドバイザーの協力を得ながら、高校・予

備校を直接訪問して説明を行い、認知拡大を図っています。



2009年度就職最前線 キャリアセンターの 取り組み

去る10月24日（土）に駿河台記念館で、キャリアセンター主催の「中央大学マスコミ関係者との交流会」が開催されました。卒業生の参加者数は総勢80名。1990年以降に卒業された比較的若い卒業生が、これから就活に突入する約90名のマスコミ業界希望の後輩たちに業界の知識や就活の経験などをアドバイスし、就職難の学生たちにエールを送る場となりました。

昨年秋から続いている世界規模での経済悪化・雇用不安の影響を受け、2009年度の企業内定率は10月現在で昨年比約10ポイント程度低く、本学も他大学同様、厳しい採

用環境にあります。8月に実施された中央、明治、法政、日本女子の4大学の合同企業説明会には1,800名の参加者があり、また、9月に行った就職ガイダンスにも多数の3年生が参加しました。

以上のような就職氷河期の現在において、学生に対し中央大学はさまざまなサポートを迅速に行うことは言うまでもありませんが、その一方で景気の良し悪しに関わらず、低学年から始まるキャリア教育を重視し、職業観、勤労観を養成し、基本をしっかりと持った学生を育てるよう努めています。



先輩の話にメモを取る学生